

沖縄県立図書館評価指標に基づく図書館評価

平成25年9月20日
沖縄県図書館協議会

[評価]

「基本指標」は、4つの指標ともに目標値を上回っており、総じて良好に運営されていると判断できる。特に、「レファレンス件数」が増加したことは、県立図書館として望ましい傾向である。

しかし、限られた予算でより効果的な図書館サービスを提供するためには、県立図書館と市町村立図書館の役割分担を考慮する必要があると思われる。

なお、「入館者数」は図書館運営上必要なデータではあるが、その増加をもって運営状況を図るという観点については、改善の余地があるのではないかと。

「個別指標」では、「広域型図書館」領域の評価が低いため、より強力に取り組むべきである。特に、宮古・八重山両分館の廃止に伴う図書館サービスを低下させないように、離島域など遠隔地のため直接来館できない県民には、資料の配送方法など指標だけでは把握できない部分を含めた、更なるサービスの強化が必要である。

また、各種研修等の企画・立案については、県立図書館としての役割を踏まえた内容設定が望ましい。そのためには県外の事例を参考にすることや、県の基本施策との連携を図ることなども検討されたい。

なお、総合評価を下回った項目だが、県立図書館への社会的要請を考慮すると、いずれも情報社会を背景として重要性は高いため、予算的措置をも含めた評価値向上のための努力を希望する。

最期に、県立図書館の事業全般にいえることだが、まだ広報活動が弱いように思われる。いろいろな企画を実施しても、県民にその情報が届かなければ意味がない。従来の周知方法や伝達ルートだけでなく、さらに知恵と工夫を凝らした情報発信方法により、多くの県民に県立図書館の事業について知ってもらうことが重要である。

[項目別達成度評価]

1 基本指標

番号	提言事項	具体的な指標	評価	基本方針評価	
					評価
1	県民の知識要求に対応できるような確かな資料の収集・整理・保存に努め、その利用促進を図る。	・入館者数	4	・入館者数、蔵書冊数、貸出冊数、レファレンス件数の全ての指標で、目標値を上回った。平成23年度に実施したリニューアルの効果と平成24年度から貸出冊数を5冊から10冊に増やしたことが原因と考えられる。 ・平成24年度はレファレンス実施後の記録の徹底を図ったことから、件数が実態を反映した結果となっている。	4.5
2		・蔵書冊数	4		
3		・貸出冊数	5		
4		・レファレンス件数	5		

2 個別指標

(1) 広域型図書館

番号	努力点	区分	推進項目	具体的な指標	評価	努力点別評価		基本方向別評価	
							評価		評価
①	WEBサイトの充実	ア	レファレンス事例の発信	・レファレンス事例のデータベースへの掲載件数	3	・レファレンス事例のデータベース掲載については、入力に重点をおいたため、掲載までには至らなかった。今後、さらに、入力及び精査の上、掲載できるよう努める。 ・HPリニューアル後チェックサイトが使用できなくなったため、別の指標への変更を検討中である。	3.0		
			オ	高度なアクセシビリティの確保(利便性の確保)	・ウェブアクセシビリティチェックサイトの評価点数				
②	市町村立図書館を通じたサービスの提供	ア	市町村立図書館への資料配送及び市町村立図書館間の相互貸借を支援する物流システムの構築	・市町村巡回車運搬冊数	3	・市町村巡回車運搬冊数は目標値を達成することができた。 ・一括貸出冊数は、前年度と比較して冊数は減ったものの、目標値は達成している。 ・移動図書館における貸出冊数は、目標値を大幅に上回っている。開催回数も増加しており、今後も事業を継続し、図書館未設置町村等における読書活動充実支援の強化を図る。	4.3	・2つの努力点とも目標値を達成した。今後も、Webサイトの充実及び離島や遠隔地へのサービス事業を継続し、図書館未設置町村等における読書活動充実支援の強化を図る。	3.7
			エ	離島や遠隔地の市町村立図書館との協同事業の実施	・一括貸出冊数 ・移動図書館貸出冊数(開催回数)				

(2) 課題解決型図書館

番号	努力点	区分	推進項目	具体的な指標	評価	努力点別評価		基本方向別評価	
							評価		評価
①	市町村立図書館及び図書館未設置町村への支援	ア	市町村立図書館の職員を対象にした研修計画の策定と実施	・市町村立図書館職員を対象にした研修会開催回数	4	・研修会の開催については、目標値を達成している。内容については、県外講師を招聘し、充実した研修の開催ができた。	4.0		
②	地域活性化へ向けた支援活動の充実	ア	子ども読書活動推進及び文字・活字文化の振興に関する市町村立図書館への情報提供と連携事業の実施	・「子ども読書活動推進室」の利用回数	5	・読書活動推進室の利用回数は増えており、読み聞かせボランティアや文庫連、子どもの本の研究会等活動団体との連携も深まった。今後も利用活用を促進する。	4.0	・2つの努力点とも、目標値を達成した。今後も関係機関との連携を強化し、研修の充実を図り、図書館職員との資質向上に努めていく。	4.0
				・沖縄県読書推進運動協議会との連携行事への参加人数	2	・連携行事への参加は、前年度と比較すると伸びているが、目標値を下回っている。今後、内容を精査し、参加を促進する必要がある。			
		コ	沖縄県図書館協会等との連携・協力	・沖縄県図書館協会主催講演会及び研修会への参加人数	5	・講演会及び研修会への参加人数は目標値を達成した。今後も内容を充実させていくよう努める。			

(3) 琉球・沖縄関係資料の中核的図書館

番号	努力点	区分	推進項目	具体的な指標	評価	努力点別評価		基本方向別評価	
							評価		評価
①	郷土資料コレクションの形成	-	-	・郷土資料の受入冊数	1	・目標値は宮古・八重山両分館を含めた平均実績値となっている。平成24年度からは本館のみであるため、目標値を本館のみの数値に修正し(7391冊)比較すると、目標値を大きく上回っている。	5.0	・郷土資料の受入れについては、分館廃止を考慮し評価した。次年度以降の評価に際しても同様な調整を要する。	4.0
②	郷土文化の保存と次世代への継承	イ	貴重資料保存計画(状態調査・修復・保存措置・複製)の策定	・修復点数	3	・資料の修復点数、複製本作成冊数、デジタル郷土資料の公開点数については目標値を達成した。	3.0	貴重資料保存及びデジタル化については、限られた予算の中で目標値を達成できた。	
				・複製本作成冊数	3				
		ウ	デジタル化郷土資料の公開と文化事業の実施	・デジタル郷土資料の公開点数	3				

(4) 電子図書館

番号	努力点	区分	推進項目	具体的な指標	評価	努力点別評価		基本方向別評価	
							評価		評価
①	付加価値の高い情報発信	ア	デジタルコンテンツの作成・発信	・デジタル郷土資料の解説点数	3	・デジタル郷土資料の解説点数は目標値を達成した。	3.0	・二つの努力点とも目標値を達成した。今後もデジタル郷土資料の解説点数を増やしていくため、予算の確保に努める必要がある。	4.0
②	ネットワークのセンター的機能構築の推進	ア	沖縄県図書館総合目録システムの機能充実と参加館の拡大	・総合目録システム参加館数	5	・南城市が新規加入し、目標値を達成した。	5.0		

総合評価

- ・基本指標全てにおいて、目標値を上回ることができた。特に貸出冊数は対前年度比58.7%となっており、貸出冊数を一人一回5冊から10冊としたことがそのまま数値となって表れている。
- 入館者数(直接来館者数)も増加しており、貸出対象者も当然直接来館個人の割合が高いが、県立図書館として力を注いでいる。離島や遠隔地住民を対象とするサービスについても、更に利用者の増加を図りたい。
- ・関係機関との連携行事への参加人数については、前年度に比べ実績を伸ばすことができた。内容の精査、参加呼びかけのツールを増やす等の工夫が反映されたと考えられる。

4.0